

議会だより

令和7年

第82号

10月10日発行

映画登場の船 伊唐に係留中



救急救命に尽力する医療従事者を題材とした映画『TOKYO MER 走る緊急救命室 南海ミッション』に、本町の企業が所有するフェリーが登場。8月の公開以降、各地から多くの見物客が訪れ、係留している伊唐北漁港はにぎわいを見せた。

Contents

- マダコ種苗生産実現へ（研修報告） ②～③
- 定例会で決まったこと ④～⑤
- 決算審査特別委員会審査報告 ⑥～⑦
- 一般質問 町政を問う ⑧～⑭
- 学び合う議員の姿を写真で ⑮
- 所管事務調査報告 ⑯～⑰
- 常任委員会の審査報告 ⑱～⑲
- 議会のうごき ⑳

9月の一般質問は…

- ・町内体育館、武道館に空調機を（小田 勝志）
- ・次期町長選挙について（竹山 司郎）
- ・学校統合再編の進捗状況、基本姿勢は（上平 重）
- ・漁船漁業対策は（中浦 雅彦）
- ・本町の農業振興について（林 義明）
- ・過去に提案した施策等の措置状況（上筋 睦雄）

マダコ種苗生産

実現へ



長島町議会は、6月25日から27日までの3日間、広島県尾道市、岡山市、神戸市の各市において議員研修（行政視察）を行い、議員11名が参加した。

視察先は、日本初マダコ種苗の安定生産に成功した水産技術研究所百島庁舎や風水害に特化した訓練施設である岡山市消防教育訓練センターなどである。

また、水産技術研究所では、水産業振興に関する知見を得るため、東町漁協職員と町職員も同行した。

議長 林 誠治

日本初マダコ種苗安定生産
水産技術研究所百島庁舎
タコは日本人にとって、欠かせない食材の一つであり、本町においても、たこぼろ漁でマダコが漁獲されている。

士の伊藤篤部長からスライド資料や飼育実験室などで3時間にわたって、説明を受けた。同研究所では、マダコの種苗生産は6月から開始し、生産した稚ダコは全国の共同研究機関に供試している。

世界的に見ると、タコの漁獲量と消費量は増加傾向である一方、国内の漁獲量は減少傾向で、現在国内で流通しているタコの半分は海外から輸入されたものである。国立研究開発法人水産研究・教育機構では、タコを持続可能な水産物として利用していくために、養殖生産による安定供給が必要とし、日本初となるマダコ種苗の安定生産技術の開発に成功した。本視察では、長島町におけるマダコの種苗生産の可能性を調査することを目的とした。

マダコ養殖へ寄せる期待

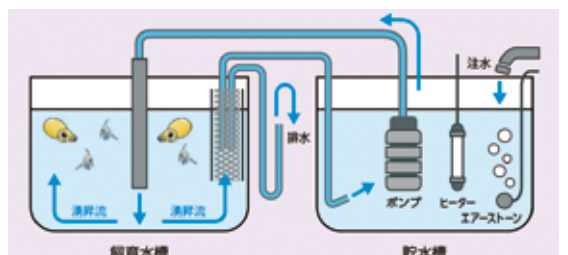
マダコは次のような理由で、市場に安定的に供給できる有望養殖対象種と考えられている。

- ①成長が早く、約1年で出荷サイズ（1kg以上）に達する。
- ②飼料転換効率が高く、食べた餌の大部分が体の成長に使われる。
- ③魚のように泳ぎ回らないので、狭いスペースで高密度に飼育できる。

人工種苗を用いた養殖生産を目的に、マダコの種苗生産技術の開発は1960年代から開始された。しかし、種苗生産の実現は困難であった。マダコはふ化から20日目までに多くの幼生が死亡してしまいうためであった。

種苗生産技術の開発

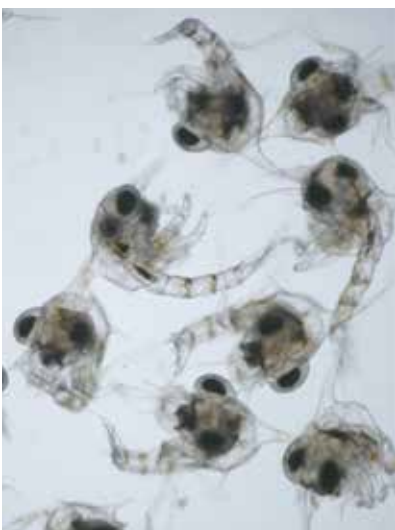
平成28年から29年にかけて同機構は、東京海洋大学との連携により、マダコ種苗生産の生存率・成長を飛躍的に向上させることに成功。これは、水槽内の水流の変更とマダコ幼生へ与える餌の変更によるものである。



水槽内に下層から上層に向かう湧昇流を発生させ、マダコ幼生に適した環境整備の実現（水産・研究教育機構機関紙より引用）

同研究所で種苗生産された稚ダコ（水産・研究教育機構提供）

6月25日、広島県尾道市百島町にある同機構の水産技術研究所百島庁舎で、水産科学博



ガザミのゾエア幼生（水産・研究教育機構提供）

これらの水槽構造・水流と餌の変更により、マダコの種苗生産技術を飛躍的に向上させることに成功した。

産業規模への展開と課題

マダコ養殖を産業として、確立するには、種苗の大量生産という壁が立ちちはだかる。

マダコ幼生を大量に生産するためには、餌となるガザミのゾエア幼生を安定的に大量確保する必要がある。多数の親ガザミの確保・管理とふ化日を調整する効率的な仕組みが不可欠で、今後の実用化の成否を握るカギとなりそうだ。

また、大型水槽を数



稚ダコの水槽前で、伊藤部長（写真左）から説明を受ける議員ら



卵を抱えた親ガザミを見せる竹島研究員

多く備えた施設の整備が求められ、効率的に管理する技術的工夫が欠かせない。適切な水流構造やマダコ幼生の収容密度の設定の検討に加え、多額の投資や人員配置が必要で、克服すべき課題は少なくない。

新たな海の恵みへ 長島町産養殖マダコ

本町はブリの養殖出荷量で日本一を誇り、タイ・ヒラメ・サバなどの養殖にも取り組んできた実績がある。今後これらに次ぐ水産業の柱として、マダコの種苗生産は非常に大き



親ガザミの飼育状況を確認

な可能性を持っている。水産種苗センターを保有する本町では、そこで培われた技術や設備を応用することで、マダコ養殖の拠点として、新たな将来性を秘めている。放流事業を含めた展開に向け、町や関係機関は積極的な推進と支援を行うべきである。

防災教育の最前線に学ぶ 岡山市消防教育訓練センター

26日には、岡山市消防教育訓練センターを視察。水難救助訓練施設で、模擬体験を通してながら、風水害への理解を深めた。

同施設は、市が平成30年の西日本豪雨災害を教訓に市民の防災意識向上と職員の対応力強化を図るため、センター内に総事業費10億8千万円で整備したものである。

令和7年5月にオープンした「風水害体験エリア」では、流水歩行や浸水時のドア開



災害時を想定した流水歩行体験

閉、強風と豪雨を体験できる設備が設けられていた。

体験した議員は、普段は想像しにくい水圧や風雨の威力を全身で感じ取り、自然災害の脅威を改めて認識。「実際の現場では、さらに過酷な状況が想定される。町民への啓発にもつなげたい」と意見が上がった。

同センターで得た知見は、本町における防災教育や減災への取り組みにも生かせるものであり、町民の防災意識を一層高め、町の災害対応力強化に結び付けたい。

議員共通意見

マダコは国内で漁獲量減少、輸入ダコの量も減少している。

実際にマダコが水槽で元氣よく動いている姿には感動した。同研究所の技術を持ち帰り、ぜひ長島でも研究してほしい。成功して放流し漁船漁業のためになればと思う。

東町漁協職員意見

産業規模的な大量種苗生産というところまでは、餌などの課題等あるようである。これらの課題が解決すれば、東町漁協としても、マダコの種苗放流を行い資源回復に努め、漁業者の所得向上につながればと期待している。

町職員意見

大量の稚ダコ生産には至っていないため、今後は調査・研究を進め、水産種苗センターの活性化につなげたい。

10月施行 乗合バスが有料化へ

令和7年第3回長島町議会定例会が9月4日から22日まで19日間の日程で開かれた。

令和7年度一般会計補正予算（第3号）では、国道389号路面改良（メロディーロード）事業費や海上海藻生産試験業務委託料など1億3092万9千円を追加し、総額122億2992万2千円となったほか、5特別会計と水道事業会計に係る補正予算などを審議した。（審議の詳細は18〜19ページ）

また、決算審査特別委員会を設置し、令和6年度決算を審査したほか、乗合バス運行条例の制定や総合運動公園ナイター照明等設置工事請負契約など認定12件、議案16件を審議した結果、原案のとおり可決した。

最終日の22日には、汐見漁港整備工事請負契約とサンセット

の丘周辺観光地整備事業の改修実施設計費のための一般会計補正予算（1770万9千円追加、総額122億4763万1千円）などが追加提案され、原案のとおり可決した。



有料化が決まった乗合バス

定例会で決まったこと

健全化判断比率・資金不足比率を報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の定めるところにより、長島町における令和6年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率が報告された。

新条例で乗合バス有料化

これまで無料で運行していた乗合バスについて、10月1日から自家用有償旅客運送に移行し、有料とするため、新たに条例を制定した。

運賃は、乗車1回につき中学生以上200円、小学生100円、未就学児は無料の定額料金である。高校生については、定期券発行ができるように定め、その料金は南国交通(株)撤退前の料金を超えない範囲で設定された。

費用弁償の基準額を改正

費用弁償は、南国交通(株)の路線バス運賃を基準として、算定していたが、路線バスが廃止されたことに伴い、行程8キロ以上に限り1キロあたり37円を基準とし、支給する改正を行った。

町長・議員選挙の公費負担限度額を改正

町長および町議会議員選挙の選挙運動に係る公費負担について、限度額を改正した。公職選挙法の一部改正により、選挙運動の公営に要する経費の上限が引き上げられたことを受け、所要の内容に合わせたものである。

勤務時間、休暇等に関する条例の改正

育児を行う職員に勤務時間や休暇の取得に関する意向を確認し、安心して職務と育児を両立できる環境を整えることを目的に条例の一部を改正した。

育児休業条例を改正

法改正に伴い、条例を一部改正した。

職業生活と家庭生活の両立を一層容易にすることを目的としている。従来の1日最大2時間の第1号部分休業に加え、年間10日相当の範囲内で柔軟に取得できる「第2号部分休業」を新設した。

総合運動公園ナイター設置工事請負契約を締結

社会資本整備総合交付金事業を活用した、総合運動公園整備について、コンクリートポール4基の建設とLED照明の設置、関連する電気設備工事を行う請負契約を締結。

契約額1億76万円で、(株)南九州電設川内営業所と契約締結。工期は令和8年3月25日まで。



設置予定と同型のLED照明

災害時の復旧体制を強化

近年、全国各地で自然災害により配水管等の復旧が遅れ、家庭で水道が使用できない状況が長期化している事例を踏まえ、水道事業給水条例を改正した。

災害時など、復旧に対応できる事業者を迅速に確保する体制を整えた。

白瀬地区の港整備工事請負契約を締結

長島港白瀬地区の港整備交付金工事で、浮き桟橋工事のうち係留杭4本を工場で作成し、運搬設置する工事請負契約を締結した。

契約額7480万円で、(株)長崎組と契約締結。工期は令和8年3月20日まで。

汐見漁港の港整備工事請負契約を締結

汐見漁港の港整備交付金事業で、防波堤整備やケーソンの据え付けなどを行う工事請負契約を締結した。

契約額1億8920万円で、(株)長崎組と契約締結。工期は令和8年3月31日まで。



工事予定の汐見漁港

令和7年度補正予算の主な事業費（単位：千円）

○一般会計（第3号）

公用車カーナビのNHK受信料に係る増額補正	……1,323
Jアラート受信機更新に係る委託料	……4,121
関東ながしま会郷土芸能派遣に係る委託料	……1,310
乗合バス事業に係る増額補正	……1,436
獅子島交流イベント（卓球大会）	……300
離島航路補助金（幣串水俣航路）	……7,706
御所ノ浦高齢者コミュニティセンター改修費	……3,775
戸籍システム標準化対応に伴うリース契約一部解約に伴う賠償金	……5,069
ブリ販売促進セールに係る委託料	……10,000
海上海藻生産試験業務に係る委託料	……9,900
「さつま島娘」町制施行20周年記念ネッカー作成費	……1,697
耕作道・用水路補修に係る工事費（指江・浦底地区）	……9,800
電気柵設置補助金	……720
メロディーロード事業費	……50,000
城川内小体育館危険箇所撤去工事費	……4,147

蔵之元小複式学級化に伴う教室改修工事費

……1,007

獅子島中特別支援学級増に伴う教室改修及び空調設備設置工事

……4,123

○一般会計（第4号）

サンセットの丘周辺施設改修実施設計委託料

……17,709

○国民健康保険特別会計（第2号）

子ども・子育て支援金制度施行に向けたシステム改修委託料

……7,700

○介護保険特別会計（第1号）

令和6年度国県補助金過年度清算に伴う還付金

……2,399

○後期高齢者医療特別会計（第1号）

子ども・子育て支援金制度施行に向けたシステム改修委託料

……3,300

○太陽光発電特別会計（第1号）

夢追い元気発電所への光エリア拡大に係る負担金

……6,050

○観光施設特別会計（第1号）

ホットウォーターヒートポンプ修繕費

……1,055

○水道事業会計（第1号）

赤崎地区送・配水管布設工事費

……25,300

平尾水源地電動弁取替工事

……4,600

令和6年度決算を認定

町の家計簿 各会計決算を審査

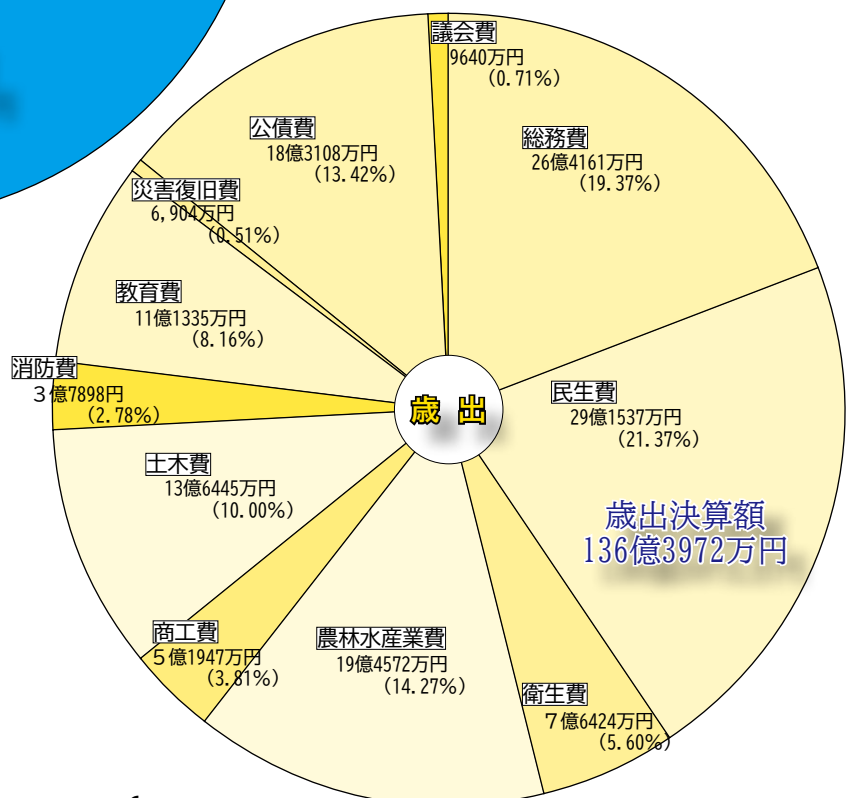
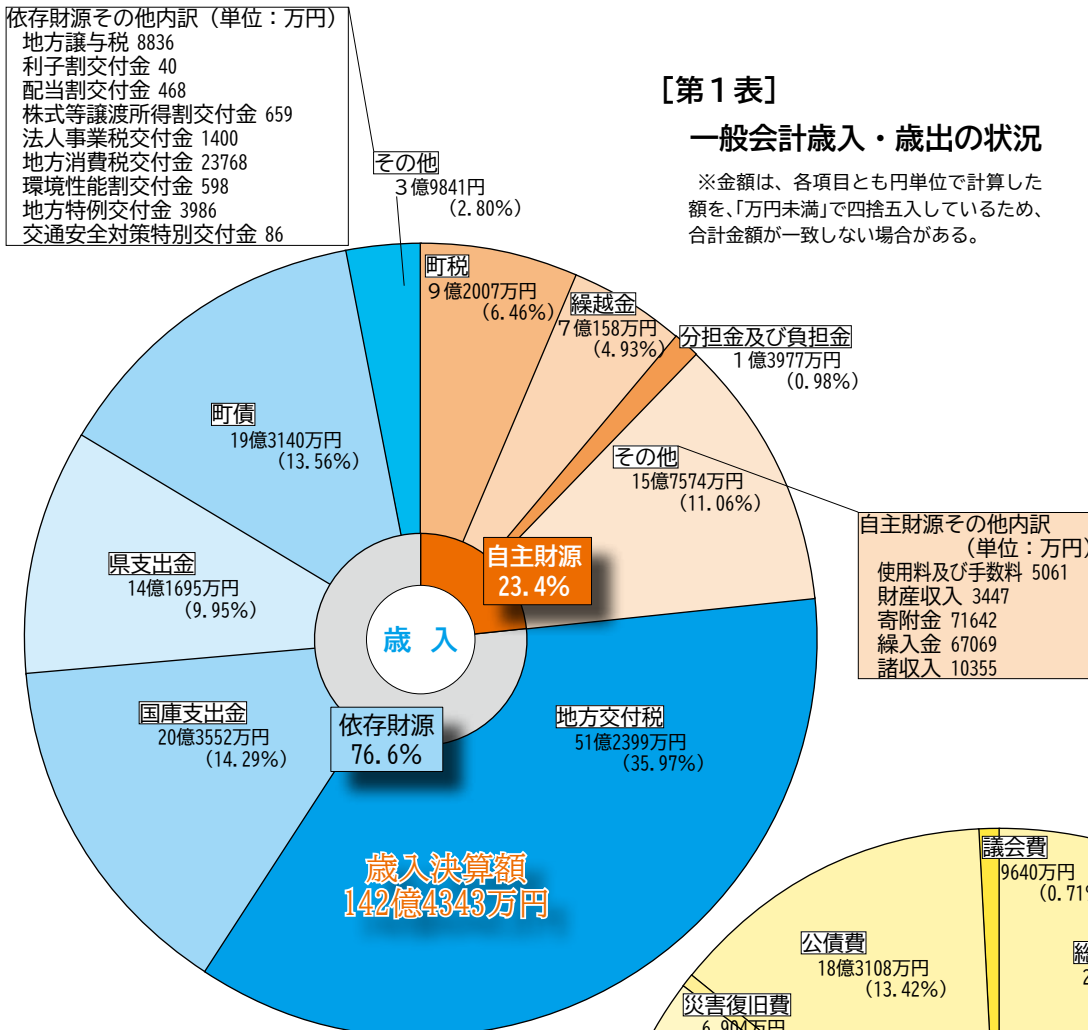
令和7年第3回長島町議会定例会では、令和6年度の一般会計と8特別会計、3公営企業会計の決算認定12件が決算審査特別委員会（上平重委員長）に付託された。

第1表は、一般会計の決算状況をグラフ化したもの。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた残額は6億371万円、翌年度（7年度）への繰越額（1億519万円）を差し引くと、4億9852万円の黒字となった。これから前年度（5年度）の実質収支額（6億1637万円）を控除した単年度収支額は、1億1785万円の赤字となった。第2表には8の特別会計の収支状況を、第3表には3の公営企業会計の収支状況をまとめた。

【第1表】

一般会計歳入・歳出の状況

※金額は、各項目とも円単位で計算した額を、「万円未満」で四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合がある。



決算のポイント

自主財源である町税の収入額は、9億2007万円で、収入総額に対して、約6%。構成比で最も大きい地方交付税は51億2399万円で、歳入全体の約36%と、本町の財源が地方交付税への依存体質であることを示している。

経常収支比率は、94・7%で、県が公表した令和7年10月1日付け令和6年度市町村普通会計決算（速報値）によると、本町は県内で最も高い数値であった。数値が低いほど自由に使える財源が多く、本町は財政の弾力性が乏しい状況である。

〔第2表〕特別会計の収支の状況

(単位：円)

区分（特別会計名称）	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険	2,154,328,415	1,937,867,730	0	216,460,685	▲154,485,957
国民健康保険診療施設	494,509,417	480,861,401	0	13,648,016	▲706,787
へき地診療施設	46,769,678	45,506,722	0	1,262,956	▲6,290,448
介護保険	1,414,293,272	1,351,798,953	0	62,494,319	▲23,945,310
諸浦港埠頭	13,778,579	13,533,431	0	245,148	▲3,606,542
後期高齢者医療	166,858,071	163,654,697	0	3,203,374	13,506
太陽光発電	127,956,762	94,726,138	0	33,230,624	▲1,491,827
観光施設	124,548,623	124,509,703	0	38,920	▲1,393,147
合 計	4,543,042,817	4,212,458,775	0	330,584,042	13,506

〔第3表〕公営企業会計の収支の状況

(単位：円)

	収益的収支（経常的な運営経費）			資本的収支（水道施設整備などの投資的経費）		
	収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
水道事業	348,508,674	305,857,554	42,651,120	113,202,111	223,425,039	▲110,222,928
簡易水道事業	46,689,064	48,599,914	▲1,910,850	185,770,000	189,313,355	▲3,543,355
集落排水事業	120,976,573	130,414,099	▲9,437,526	5,300,000	29,010,415	▲23,710,415

※不足分は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填した。

委員会の質疑から（一部抜粋、審査順）

▼企画財政課

Q. 夢追い元気集落活性化事業補助金は、あと何年交付するののか。
A. 令和17年度まであと10年間交付する予定。

▼地方創生課

Q. 令和5年度には車両経費があったが、令和6年度にこの経費がないのはなぜか。
A. 令和5年度予算で委託している社団法人が車両を購入し、協力隊に貸与しているため、令和6年度では、車両経費が発生していない。

▼耕地林務課

Q. 農道改良工事のうちスミイルプラン事業で実施しているものがあるが、その理由は。
A. 当該農道の改良工事について、起債での実施を検討したが、対象となる農道の要件を満たさなかったため。

▼福祉事務所

Q. 生活保護廃止世帯8件の内訳は。

A. 死亡5件、働き手の収入増加1件、扶養義務者からの支援1件、老人ホーム入所が1件。

▼教育総務課

Q. 中学校統合再編基本計画詳細版の策定支援業務委託の詳細は。
A. ワークショップを3回開催し、詳細版を作成した。今後は住民説明会とパブリックコメントを行った後、定例教育委員会に諮り、策定予定。

▼農政課

Q. みかん展示園は、どのような管理をしているのか。
A. 管理者に草払い等を行うよう指示したが、一部しか手入れされておらず、早急に対応するよう促した。

▼水産景観課

Q. だんだん市場のショーケースは、備品購入費100万円以下であり、指定管理者が購入するべきでは。
A. 当初見積りでは、100万円を超えており、予算計上していたが、入札の結果、793100円で落札した。

◎付帯意見

●マンダリンセンターのみかん展示園は、昨年10月に重機での整備をしたにもかかわらず、雑草や蔓が生い茂り、圃場整備の趣旨を果たしていない。
今後担当課による指定管理者への管理監督を徹底し、チェック体制の構築を更に強化すべきである。

●唐隈地内の町単独修景整備工事について、国道であるガードレールの裏側や民地への施工など、工事内容に不明瞭な点が見受けられた。公共工事は、本来の目的や費用対効果を視野に、住民ニーズに合った事業計画で推進するべきである。

一般質問

町政を問う

質
問
席

一
般
質
問

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねること。

単に疑問をはらし、事実関係

を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和7年第3回定例会（9月）では次の6人の議員が質問した。

一般質問の内容を視聴できます。
詳しく知りたい方は、議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ってください。



1 小田 勝志（9ページ）

- ・ 町内の体育館、武道館に空調設備の設置を
- ・ サンセットの丘ホテル建設について
- ・ 中学校統合再編を踏まえた部活動の地域移行

2 竹山 司郎（10ページ）

- ・ 次期町長選挙について
- ・ おむつ等支給事業について

3 上平 重（11ページ）

- ・ 中学校統合再編の進捗状況、基本姿勢は
- ・ 合宿誘致事業の現状と今後の取り組みについて

4 中浦 雅彦（12ページ）

- ・ 漁船漁業対策は
- ・ 独居老人への支援について

5 林 義明（13ページ）

- ・ 本町の農業振興について

6 上筋 睦雄（14ページ）

- ・ 子育て支援について
- ・ 過去に提案した施策等の措置状況
- ・ メロディーロードについて

小・中学校体育館、町立体育館、武道館に空調設備の設置を

答 有効な補助事業を活用できないか検討

町内の体育館や武道館に空調設置を

小田 ①各施設の利用状況は。

②各施設に空調設備設置を。

教育長 ①町民体育館、多目的ホール、B&G体育館、武道館、各施設子どもから高齢者まで幅広く利用している。

町長 ②近年の温暖化、気温上昇の現状を踏まえ、また災害発生時の避難場所として、



動画は
こちら



町武道館に設置されている気化式冷風機

設置すべきと思う。事業費が膨大なため、教育委員会と連携し、有効な補助事業を活用できないか検討する。

況も要因となり、不測の事態が生じなければ、着工時期を示せる。

サンセットの丘ホテル建設

小田 ①現在の状況は。
②今後着工の見通しは。

町長 ①本年夏頃までに着工時期の明示をお願いしていたが、現時点では示すことは難しい。
②今後は年単位で遅延する。着工の判断として、現在建設されている別のホテルの経営状況



工事着工が待たれるホテル建設予定地

中学校統合再編を踏まえた部活動の地域移行は

小田 ①中学校統合再編の時期は。

②部活動の現況は。

③今後部活動の地域移行の考えは。

教育総務課長 ①10月中旬に住民説明会を開催し、その後パブリックコメントを実施。その結果を踏まえ、12月下旬の定例教育委員会で策定したい。

町長 ①1日でも早く提案したい。

教育長 ②部活動の現況として、運動系、文化系を合わせて17部、計144名が加入している。国の指針に基づき、段階的な地域連携、展開を行っている。

③今年度、地域クラブ団体が2団体増え、現在3団体が地域移行している。地域や学校の実態に応じて、令和13年度までに休日については、地域クラブ活動で行う体制を整備する。



武道館で練習するスポーツ少年団

小田 勝志 議員
おだ かつし

たけやま
しろう

竹山
司郎議員



動画は
コチラ

次期町長選、 川添町長の出处進退は

答 現在のところ、何も考えていない

次期町長選挙

竹山 来年4月で任期満了となるが、町長の出处進退の考えは。

町長 現在のところ何も考えていない。



自身の出处進退について答弁する川添町長

竹山 合併してから、20年。ちょうどよい区切りだと思う。どのように考えているか。後継者は考えているのか。

町長 後継者は私が指名するものではなくて、「私はこういう政策をやりたい」という情熱を持っている方に、手を挙げてほしい。

おむつ支給事業

竹山 子どもを出産してから、満1歳までの誕生月まで毎月3000円相当のおむつ支給をする考えはないか。

町長 子育て家庭の経済的負担の軽減や育児の安心感の向上につながる効果的な仕組みの1つと考える。

竹山 毎月、相談員がおむつを届ける際に、母親が子育てに関する悩みなどを気軽に相談できるような事業を考えているか。

町長 満1歳までの期間は、母親と会う機会を増やして、育児に関する悩みを丁寧に聞く対応を取っている。



町が実施する母子相談



＼出産後のママと赤ちゃんを応援／

長島町産後ケア事業

産後のママが安心して育児がはじめられるよう、産後ケアの利用料金を一部助成します。

利用できるかた 町内に住所がある産後12ヶ月未満のママと赤ちゃん
産後、育児への不安があり、支援を希望されるかた など

利用のかたち

- 宿泊型 >>> 助産院等に**宿泊して**ケアを受ける
- 通所型 >>> 助産院等に**向向いて**ケアを受ける
- 訪問型 >>> 自宅等に**訪問してもらって**ケアを受ける

※利用日数の上限：通算して7日以内（状況に応じて14日まで延長できます）

サービス内容

- 育児相談 ●乳房ケア ●授乳について ●沐浴について
- 赤ちゃんのお世話について ●ママの心と体について など

本町で実施されている「産後ケア事業」

中学校統合再編の進捗状況と基本姿勢を再度問う

鷹巣中学校（案）に決め、基本計画
詳細版の策定を進めている

答

学校統合再編の今後のスケジュール

上平 中学校統合再編は町の将来を左右する最大の課題である。進捗状況並びに町長、教育長の基本姿勢を再度問う。

町長 教育委員会で、鷹巣中学校（案）の基本計画詳細版策定に向け、住民説明会の準備を進めている。

教育長 10月に詳細版の住民説明会を開いた後、パブリックコメントを1カ月間実施し、

保護者中心の意見を伺う。その後、総合教育会議で協議し、定例教育委員会に諮り詳細版の策定となる。

上平 再編のプロセスにおいて、教育委員会の独立性は担保されているか。

町長 公平かつ適正に行わなければならない。顧問弁護士を通じて相談し、違法性もない。お墨付きである。

旧長島高校跡地案はどうなっているか

上平 旧長島高校跡地（案）の検討状況は今のようになっていくか。

町長 鷹巣中学校（案）が否決された場合、2案として旧長島高校跡地（案）で計画の策定を進める。



新中学校用地として、計画が進められる鷹巣中学校

教育長 今後も丁寧に説明し、町民の理解を得ながら、進めていく。

上平 小学校の老朽化も視野に入れ、新たな学校づくりを策定すべきでは。

町長 今回は中学校に絞って統合再編の基本計画を策定中である。小学校の老朽化に伴う対応は、施設の修繕を主に進める。

合宿誘致事業

上平 今後の営業戦略や仕組みを構築し、合宿事業を強化する方針はあるか。

町長 現在のところ合宿誘致事業には、積極的には取り組んでいないが、町外高校の軟式

野球部が合宿した際、宿泊や移動で苦労したことは聞いた。今後の参考にしたい。また、課題として、運動場や体育館の老朽化、指定管理も含め、検討する。空調設備に関しても財政状況を踏まえ、緊急性の高いものから着手する。



本年8月に本町で行われた高校野球の合宿に参加した選手ら



動画は
コチラ →

長島町でマダコ放流の考えはないか

答 積極的に放流事業を行っていききたい

漁船漁業対策は

中浦 水産研究・教育機構百島庁舎では、人工種苗を用いたマダコ養殖に成功している。長島町でも、種苗生産し、稚ダコを放流する考えはないか。

町長 どのような方法で放流するのか、経費



水産研究・教育機構の種苗生産技術での安定生産された稚ダコ

をどうするか話し合い、積極的に取り組んでいきたい。

中浦 藻場造成放流事業の進捗状況は。

町長 湯ノ口で藻場整備、伊唐で漁礁整備が計画されている。放流事業は、東町漁協と北さつま漁協で以前からマダイやヒラメを放流している。

中浦 水中カメラを導入し、現在の漁場、海中対策はできないか。

町長 水中カメラについて、調査する。購入については、まだ決めていない。

中浦 新しい漁種等への補助はないか。

町長 現在団体や個人に対して、新しい漁種等への補助はない。今



たこつぼ投入前の準備を行う漁師(薄井漁港)

年度幣串地区、立石も含めて海藻の実証実験を計画している。企業版ふるさと納税を一部充当していることから、漁業者に協力いただきたい。

中浦 鹿大、東町漁協、町との協定の事業内容と取り組みは。

町長 赤潮のモニタリング体制の強化や赤潮発生時の対応策の研究、藻場造成のモニタ

リングなど三者連携を図りながら、課題解決に向けて取り組む。



鹿大で、海中の調査時に活用されている水中カメラ

独居老人への支援

中浦 3年前も質問したが、身寄りのない独居老人を対象とした緊急通報システム利用者の進捗状況と自己負担免除はできないか。

町長 現在は7人が利用し、令和6年度7人、5年度8人、4年度10人の利用実績である。利用料金については、月額3300円のうち、町が2300円負担し、利用者に1000円負担いただいている。緊急時にかかわらず、定期的に利用者に電話し、生活状態や体調の確認を行う必要経費と考えている。負担金免除については、町長が認めた場合は減額、または免除できる。



動画は
こちら

本町の農業振興は

答 小規模農家対策、中山間地対策を
しっかり続ける

基盤整備の進捗状況
と今後の推進計画は

林 今回の米騒動で、
米の生産調整を廃止
し、増産に転じれば、
価格が不安定になるこ
とから生産費削減のた
め、土地基盤整備が必
要となるが、現状と今
後の計画は。

町長 水田の整備率
78・5%、畑地が50・
3%となり、農地全体
の整備率58・3%と
なっている。今後につ
いては、単独事業で対
応できないものについ
ては、県営事業や補助

事業採択に向けた取り
組みを進める。

作物の推進方策は

林 本町の作物は、バ
レイショが主力で県内
の生産量のうち、約
25%を本町産が占めて
いる。連作障害が発生
する作物であるので、
対策として、客土や深
耕などが必要と思われ
るが。

町長 本町は農業、漁
業の一次産業の町であ
り、所得を確保するこ
ういうことから、土地改
良事業は一番いい方法
であるので、どの対策
よりも力を入れていく
べきであると考えてる。

労働力確保対策は

林 農業分野の人手不
足は、農家の高齢化や
後継者不足が主な要因
で、農家が年々減少し
ている状況である。出

荷団体やJA、行政が
一体となって人材派遣
事業のようなものが必
要と思われるが。

町長 雇用対策はどう
いう対策を打てばいい
か困っている。今後そ
れぞれの団体や関係者
に聞いて、町がどのよう
に協力していけばいいの
か話し合いを進める。

農家数		[戸数]		
年	総農家数	専業	第1種	第2種
平成27年	887	381	148	358
令和2年	781	261	116	404
10年後見込み	604			

町内の農家数の推移と10年後見込み数

農家数人口(経営耕地面積が30㌥以上) [人]

年	農家人口	14歳以下	15～29歳	30～59歳	60～64歳	65歳以上	高齢化率
平成27年	2,792	200	286	957	315	1,034	37%
令和2年	2,091	124	140	606	254	967	46%
10年後見込み	1,168						

町内の各年代ごとの農家人口の推移と10年後見込み数



基盤整備を進める農地(城川内地区)

収入保険制度の加入
状況と推進方策は

林 収入保険制度の本
町での加入状況と加入
促進対策は。

町長 対象となる農業
経営体数183件に対
し、加入件数は43件、
加入率は23%である。
加入率は低い状況で、
今後関係機関と連携
し制度の周知とその必
要性の啓発に努める。

かみすじ
むつお
上筋 睦雄 議員



動画は
こちら →

虐待防止、妊産婦、ひとり親家庭の訪問支援は

答 法定支援を実施。訪問支援は必要に応じて実施

10月1日施行、改正児童福祉法

上筋 ①保育人材の確保は。

②保育所等職員の虐待行為の撲滅を期するための施策は。

③本町の虐待、保護事例は。

町長 ①保育士の復職や就職相談支援など、県との連携に努める。
②保育施設に虐待防止マニュアルを整備し、通報先や関係機関との連携を周知する。

福祉事務所長 ②町内

のほとんどの保育施設に、見守りカメラ設置済み。

③令和6年度に3世帯、4年度に1世帯で、いずれも子どもは一時保護した。

上筋 ①妊娠、出産、育児支援は。

②産後うつへの支援、現状と訪問支援等の課題は。

町長 ①経済的支援として、児童扶養手当や医療費助成を実施。母子保健手帳発行交付時の保健師による面談を行っている。

町民保健課長 ①アンケートや質問票を活用している。

②産科医療機関での検診。町では、産婦新生児訪問時に質問票を実施。訪問支援は必要に応じて実施。

上筋 ひとり親家庭支援、現状と課題は。

町長 ひとり親家庭の保護者が安心して子育てができるよう支援に取り組んでいく。

提案に対する措置状況

上筋 ①オンデマンド交通の検討は。

②地方債償還計画、令和6年3月末の残高は。

③再生可能エネルギー、バイオマスの利活用は。

町長 ①今後の有力な交通手段の可能性。調査研究を進める。

②地方債残高は約164億円。完済予定は令和36年3月末。

③実施可能な事業等について、調査研究する。



地域の移動を支える新しい交通手段「オンデマンドバス」

中学校統合再編

上筋 現在の中学校の校区、長島中、平尾中、鷹巣中、川床中を基盤、通学範囲とした小中一貫の義務教育学校の考えは。

町長 鷹巣中での基本計画詳細版の作成を進めているところである。

メロディーロード

上筋 広報発表、設置場所、曲の募集、新聞掲載など決定されたかのような動きで、勇み足ではないか。

町長 県と協議し、道路法上の問題はなく、具体的な協議を進めるため実施。今回必要な予算を議会に提案した。

学び合う議員の姿を写真で

2、3階で紹介した議員研修の内容や学びの様子を写真を通じてお伝えします。

6月25日（水）
水産技術研究所百島庁舎



マダコの種苗生産技術の説明に真剣な表情



長島でのマダコ種苗生産に期待を寄せた議員

6月26日（木）
岡山市消防教育訓練センター



浸水時のドアの重さを体験する水圧ドア体験



水没車両を再現した模擬体験



風速20m/s、雨量100mmの風雨体験



同センターで自然災害の脅威を改めて認識



風水害の教訓を聞き入る議員



議会の傍聴に来ませんか？

長島町議会では、会期中、傍聴者を随時、受け付けています。町民の皆さんが選んだ議員が、町の施策や予算の審議をどのように行っているか、関心のあるかたは、ぜひ傍聴にお越しください。

また、本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーのテレビでもご覧いただけます。
次の定例会は12月に開会される予定です。

安心して子育てできる町の実現へ

総務民生常任委員会副委員長 竹山 司郎

総務民生常任委員会では、令和7年7月24日～25日の日程で、子ども子育て事業や定住促進並びに自然災害に向けた防災対応として、福岡県みやま市および熊本県南阿蘇村の震災ミュージアムで、所管事務調査を行った。



子育て支援事業の説明を受ける委員

者負担が設けられ、非課税世帯や生活保護者は無料でサービスを受けられる。

定住促進および結婚支援金については、結婚新生活支援補助金、奨学金返済支援事業、マイホーム取得補助事業など、様々な定住支援事業を実施しており、なかでもマイホーム取得補助事業では、市外からの転入世帯で新築または中古住宅を

対象要件とし、令和6年度実績として225件、3300万円、転入世帯加算として現物支給のコメや電子コインが99件、340万円となっていた。

奨学金返済支援補助金では、在学中に日本学生支援機構等で奨学金の貸与を受けた者で、満30歳以下で5年以上みやま市に居住する意思がある者が対象で、3年間で最大54万円の補助が受けられる。

みやま市は、様々な補助制度を実践しており、本町も対応できる制度は活用すべきとした。

次に、熊本県南阿蘇村の「震災ミュージアム」では、熊本地震の経験や教訓を学んだ。地震の経験や教訓を学び、風化させず後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図るこ

とを目的に整備されていた。

今後予想される南海トラフ巨大地震の発生時期については、30年以内の発生確率が80%とされ、本町も被害想定区域に含まれている。加えて、熊本県を南北に走る「日奈久断層」でのプレート変動では本町に甚大な被害が出る可能性が高い。いつ、どのような規模の地震が発生するか常に警戒が必要である。

最後に、本町でも「地方創生2・0の長島大陸みらい創生総合戦略」の柱の一つであ



語り手から熊本地震の惨状を聞き、防災意識を醸成

る「子ども子育て支援政策」として、誰もが長島町で子育てしたいと思うような支援対策を講じることができるよう、担当課の奮起を期待したい。



地震の爪痕を残す旧東海大学阿蘇キャンパス



震災ミュージアム

学校跡地活用で産業創出を

建設経済文教常任委員会委員長 池田 安彦

建設経済文教常任委員会では、令和7年7月31日～8月1日で、畜産技術の向上と学校跡地活用の観点から曾

村浩次事務局長から、施設の概要、運営などについて説明を受けた。

南九州畜産獣医学拠点は9年前廃校になった財部高校跡地に曾於市と鹿児島大学共同獣医学部とが連携して整備し、将来の畜産業、獣医師を担う人材の育成、新たな産業の創造、交流人口の増加を目的として開所した。県の土地であった用地を曾於市が無償譲渡を受けて取得。地方創生拠点整備交付金9億5千万円、JRA（日本中央競馬会）の助成金2億

まず、南九州畜産獣医学拠点施設では、（一財）スクラブそおの今



乗馬体験ができる屋外馬場



宿泊施設は28部屋整備



気象センサーで管理された次世代閉鎖型牛舎



20頭規模の馬厩舎を整備

すべての工程を現場で経験できる。

地方創生エリアでは、旧校舎を改装して、講義室やカフェ、レンタルオフィス、宿泊施設などが整備されている。馬エリアでは、在来馬や引退競走馬が飼育され、乗馬も体験できる。

去年4月に開所してからの来場者は2万3000人とのことであつた。

次に、加治木猟友会（加治木ジビエ加工センター）では、同会の桑迫輝文代表より、説明を受けた。

同施設は代表の自己資金1億円をかけて整備し、令和2年5月から運用している。有害

鳥獣捕獲後の埋設する労力や不法投棄の対策として、捕獲員から鳥獣を引き取り、加工、販売をしている。10頭同時に吊り下げできる冷蔵庫のほか、銃弾などの異物を見つける金属探知機、雑菌繁殖を抑えるためにアルコールを使った凍結機を整備、年間1300頭の処理加工をしている。

販売ルートは東京、大阪、広島、福岡などの高級志向の料亭などに卸しているとのことであつた。

捕獲について始良市



施設内で処理加工されたイノシシ肉

では、くくり罠がメインで、箱罠が多い長島町では、くくり罠を増やすよう提案を受けた。

最後に、本町においても学校跡地活用が取り出される中、旧校舎を改修し、レンタルオフィスや宿泊施設などを整備し、新たな人の流れを生み出す複合施設の検討が必要である。

また、有害鳥獣が増える中、対策強化を図り、ジビエ処理施設整備についても担当課がさらなる研究に努めることを期待する。



吊り下げ保存される冷蔵庫

利用者に寄り添うバス運行を

総務民生常任委員会

委員長 児玉 誠

委員会付託案件

○議案第73号

長島町議会議員及び長島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第74号

長島町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第75号

長島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第76号

長島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第77号

長島町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について

○議案第79号

長島町乗合バス運行条例の制定について

○議案第80号

一般会計補正予算（第3号）

○議案第81号

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議案第82号

介護保険特別会計補正予算（第1号）

○議案第83号

後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

○議案第84号

太陽光発電特別会計補正予算（第1号）

○議案第74号

▼総務課

Q. 費用弁償について新しい計算方法と旧料金との差額は。

A. 行程8キロ以上に限り1キロ当たり37円で実費額を支給するもので、旧料金との差額は地区により110円から240円程度増減する。

○議案第79号

▼企画財政課

Q. 条例制定後、実情に応じた見直しの考えは。また、中学生の通学利用について、減免の考えは。

A. 見直しについては、公共交通活性化協議会で協議したい。

Q. 運賃一律200円の根拠と利用者からの意見は。

A. 南国交通の現在の最低運賃で設定した。公共交通活性化協議会で料金に係る意見はなかった。

Q. 身体障がい者半額の規則案であるが、免許返納者も規定に入れるべきでは。

A. 免許返納者の減免について検討したい。

○議案第80号

▼企画財政課

Q. 乗合バス運行事業

でNPO法人ながしま地域活性化推進機構の就業規則に、人数確認や料金徴収について記載があるか。

A. 詳細な規定は定めていない。これまで通りの就業規則で対応できると考える。

▼総務課

Q. NHK受信料の支払いについて、最大13年さかのぼって、今回計上するに至った経緯と他自治体の状況は。

A. 今年5月に南日本新聞にさつま町と県内のNHK受信料未払いの記事が掲載され、支払いについて認識した。

NHKハカーナビ搭載の公用車の一覧表を送付し、該当車両の未契約額揭示に基づき、補正予算を上程した。

○議案第81号、83号

▼町民保健課

Q. 所得区分の階層によって、負担額が違うのか。また、どのような形で負担するのか。

A. 所得によって、負担額が違う。負担方法については、従来の医療給付費、後期高齢者支援金、介護納付金に令和8年度から子ども子育て支援給付金が追加され負担することになる。国民健康保険税および高齢者医療保険料の算定については、10月以降、国が示す予定である。

◎附帯意見

長島町乗合バス運行条例の制定については、利用促進と公平性の観点から、減免規定、定期料金の運用等について、今後利用者目線を重視し整理されたい。



NHK未契約の公用車

※委員会の審査報告は、質疑のあった主な議案のみ掲載しています。

実証実験は今後の活用を見越して

建設経済文教常任委員会

副委員長 二階堂 猛

委員会付託案件

○議案第78号

長島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

○議案第80号

一般会計補正予算（第3号）

○議案第85号

観光施設特別会計補正予算（第1号）

○議案第86号

水道事業会計補正予算（第1号）



付託案件を審査する委員

○議案第78号

▼水道課

Q. 災害時に、町外の給水装置工事業者でも工事ができるようにする旨の条例改正であるが、近隣の市町からの応援を想定しているのか。

A. 本町が依頼する自治体を決めるのではなく、県や日本水道協会鹿児島県支部からの要請に応じた自治体や事業体に派遣してもらうことを想定している。

○議案第80号

▼教育総務課

Q. 城川内小学校体育館の危険箇所撤去について、財源はまちづくり基金繰入金が妥当なのか。



耕作道の確認(浦底地区)

A. 起債であれば過疎債を充てることになるが、今回の事業では、過疎債は対象外であったため、まちづくり基金を充てることとした。

▼農政課

Q. 電気柵設置補助は個人で申請できるか。

A. 認定農業者、認定新規就農者、または10㌥以上の農地を耕作しており、出荷実績のある農家が個人で申請できるように変更した。

▼水産景観課

Q. 海上海藻生産試験業務委託の委託期間はいつまでか。また、委託予定の企業の詳細と実証実験の内容は。

A. 委託期間は今年度3月末まで。進捗次第では、繰り越す予定である。企業の詳細は、海藻の種苗生産から養殖、加工、販売までを行う、シーバジタルという※スタートアップ企業である。実証実験については、トサカ、ミリンおよびモズクを対象に幣串地区で海藻養殖を行う。

▼建設課

Q. メロディーロードの曲の公募を予算の工程前に行った理由は。また、地方創生交付金2・0の活用を考えたか。

A. 公募は予算の執行に伴わないものであり、曲を選定しなければ事

務手続を進めることができなかった。地方創生交付金2・0については、道路管理者でない者がメロディーロードを設置した事例は全国的に無く、本年度中に同交付金を利用可能か国に照会できないため、単独事業で行うこととした。

○議案第86号

▼水道課

Q. 赤崎地区送・配水管布設工事の内容は。

A. 赤崎水源から供給する水道水を、浦底水源に切り替え、赤崎地区の水源池に直接送水

できるようにする工事である。

※スタートアップ企業
革新的な技術やアイデアを基に短期間での急成長と事業拡大を目指す創業間もない企業。

◎附帯意見

海上海藻生産試験業務委託については、委託業者に対し、海藻の生育状況の定期的な報告を求めることとする。事業終了後には成果や課題を整理し、今後に活用されたい。



メロディーロード整備予定の国道389号線(上り浜)

議会のうごき

7月

4日	第1回広報特別委員会（No.81）
6日	第73回三地区親善体育大会（町内）
8日	南九州回り自動車道建設促進期成会総会（出水市）
9日	しじま汽船進水式（広島県尾道市）
10日	第2回阿久根地区消防組合議会臨時会
11日	町道渡釜線開通式 （阿久根市）
11～15日	決算審査
15日	あづま海水浴場海開き安全祈願祭
22日	被爆80周年核廃絶・平和行政に関する要請 例月出納検査
23日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
24日	工事事務監査
24～25日	長島町戦没者追悼式
26日	総務民生常任委員会所管事務調査 （福岡県みやま市・南阿蘇村）
29日	サマーフェスティバルinながしま
31日	県町村監査委員協議会臨時総会及び町村監査 委員・補助職員研修会（鹿児島市）
	建設経済文教常任委員会所管事務調査（曾於市）
	長島町民生委員児童委員推薦会

8月

1日	建設経済文教常任委員会所管事務調査（始良市）
2～3日	第46回せたがやふるさと区民まつり（東京都）
5～6日	北薩広域行政事務組合議員視察研修
7日	市町村政研修会（鹿児島市）
19日	正副議長研修会（鹿児島市）
	第1回国民健康保険運営協議会
	第1回介護保険事業計画策定委員会及び地域 密着型サービス運営委員会
	地域包括支援センター運営協議会及び認知症 初期集中支援チーム検討委員会
20日	県市町村振興協会評議員に係る説明（鹿児島市）
21日	指江港浮き桟橋竣工式
	決算審査意見報告・例月出納検査
23日	出水広域連携・防災「道の駅」整備推進協議会総会
25日	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）
28日	出水地区市町議会議長会総会（出水市）
	しじま汽船披露式及び内覧会
	第6回長島町立小中学校等統合再編推進委員会 議会運営委員会（第3回定例会のため）

9月

4～22日	第3回定例会
4日	第4回全員協議会
12日	第11回学校統合再編調査特別委員会
13日	幣串地区稚魚消毒用貯水槽竣工式
14日	中学校体育大会（町内）
23日	杉ノ段招魂祭
24日	例月出納検査
	阿久根地区消防組合例月出納検査（阿久根市）



本号の表紙には、伊唐小学校の子どもたちや島の皆さんと一緒に撮影したフェリー「海竜」の姿を掲載しました。かつて獅子島航路を走り、多くの人に親しまれた船であり、今年夏、映画『東京MER南海ミッション』に登場したことで、全国からも注目を集めています。子どもたちの笑顔は町制20周年の節目にふさわしい1枚となりました。議会だよりは、議会の出来事を伝えるだけでなく、町の話題や皆さんの声を届ける広報紙です。これからも、親しみやすく読みやすい誌面づくりを心がけ、町の未来と一緒に考えていければと思います。

（上平 重）

【発行責任者】

議長 林 誠治

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 上平 重
副委員長 中浦 雅彦
委員 楠元 康博
二階堂 猛
竹山 司郎

